

“環境整備活動” [美しいまちづくり]

アドptrリバー・アドptrロード活動

高向小学校区は、豊かな自然環境と歴史資産に恵まれた素晴らしい地域です。素晴らしい環境の保護と整備に対する気運が高まり、平成17年に大阪府と高向区で協定した「アドptrリバー・高向」(春・夏・秋の河川清掃)は、各地区の環境整備活動の関心が年々高まり、13年間の活動を経て高向地域の大イベント行事として定着しています。

毎回・高向区・各町会の役員は基より、各地の青壮年の参加(平均・150人/回)を得て実施、内外から大きな評価を頂いています。

今後に向けて、現行の「アドptrリバー・高向」の活動を、校区全域に拡大・発展させると共に、一部の地区で行われている小・中学校の通学路や、生活道路を含めた主要道路の「アドptrロード活動」(道路の清掃と整備)を新たに協定し、道路の美化と安全確保に向けた活動を展開したいと考えています。



花の植栽活動

校区内の住民の方々と共に、「郷土愛を育んで行こう」と考え、校区内の公的場所や各協賛施設等、様々なところに・ひまゆ会・の名盤付プランターを設置。

定期的(年2回)に花苗を植え替え、校区内のひと達には郷土愛を感じて頂き、道行く人には地域を楽しんで頂いています。



“あなたの想いをまちづくりに”-ご協力募集-

高向小学校区「ひ・ま・ゆ会」(ひと・まち・ゆめづくり会)は、平成24年9月に設立。校区内の住民同士のつながりを深め、良好な人間関係と地域社会を構築してきました。「10年後の、地域の目指す将来像」を・清流でつながり 花と文化が薫る 賑わいと活力のあるまち 高向・と掲げ、意欲的に活動しています。“ひ・ま・ゆ会”では、住民の協力を更に強め、「活き活きとしたまちづくり」を進めていきます。活動にご協力頂ける方、ご興味のある方を募集していますので、応募をお待ちしています。



編集後記

*お問合せについては下記までご連絡下さい。

高向小学校区 “ひと・まち・ゆめ” づくり会
・会長 北宅 実美 Tel: 0721-52-6115
・事務局長 森 光啓 Tel: 0721-53-0459 (同 Fax)
・河内長野市 自治協働課 (担当: 吉川氏) Tel: 0721-53-1111
(土・日・祝日を除く平日 9:00~17:30受付) Fax 0721-53-2380

ひ・ま・ゆ News 2017 (下期号)

高向小学校区 “ひと・まち・ゆめ” づくり会

“くろまろファーム”活動

平成26年1月に「上高向農業活性化協議会」を設立。地区の遊休農地の解消と地域農業の活性化を図り、地域力を高めるとともに、農業の後継者育成を目的に立ち上げました。

現在メンバー9名で活動中、耕作農地は約2ha弱で、事業の活動状況は①蛍の育つ石川上流の清流で栽培した・高向ほたる米・(大阪エコ農産物認証・ブランド米)を、「道の駅くろまろの郷」農産物直売所(あすかでくるで~河内長野店)で販売。②又、29年から、地域で必要とされるもち藁を確保するため・もち米・の栽培・販売を実施、30年以降も継続を予定。

③更に、もう一つの事業として、くろまろの郷に隣接する「くろまろファーム」では、27年より・体験型交流農園事業・

として業務委託を受け、春季・秋季に分けて、主に「さつまいも・玉ねぎ・ジャガイモ・落花生」等々を栽培し、市内の幼稚園・保育園、7園の園児たちに収穫を楽しんで頂いています。④また、・体験型交流農園事業・は、園児だけでなく、「道の駅」への来場者の方々にも、河内長野市やくろまろの郷関係者が主催するイベント行事に合わせて、収穫を体験して頂いています。

今後も、遊休農地を利用・活用させて頂き、自然豊かなこの地域の農業の活性化と生産性・資金力の向上に努め、農業後継者の育成に取り組みます。



“奥河内イルミナージュ” [イルミネーションZOO]



南大阪最大級のイルミネーションイベント、第4回「奥河内イルミナージュ」が花の文化園で始まりました。大勢の家族連れが、光のアニマル達や高さ15メートル円すい形の巨大な「フルーツカーニバルツリー」に目を見張り、ツリーに入った子どもたちは、空から降り注ぐような光に見入っていました。

園内の特徴を活かした幻想的な光の演出で「ときめき」と「癒し」の空間をお楽しみ下さい。

- ・期 間 2017年12月15日(金)~2018年3月4日(日)
- ・会 場 府立花の文化園
- ・入場料 大人 1,000円(中学生以上)
小人 500円(3歳未満無料)

※尚、17時30分以降の当日、売り場でスタッフに合言葉「モックル」と言って頂くと、入場料が20%割引になります。

●地域発見活動● [つながりづくり]



箇笛コンサートの開催(29・10・1)

四季折々、滝畠の茅葺き民家を舞台に・滝畠：箇笛の響きコンサート・を盛大に開催致しました。山深い自然環境の豊かな奥河内滝畠に今年も箇笛の音色が響き、「癒やしと安らぎ」のひとときを過ごしました。

箇笛(奏者・作曲家 井上真美さん)では、もみじ・里の秋、月の沙漠・等の日本の名曲の数々や、月をテーマとしたオリジナル曲「七種の花」などが演奏され、また、滝畠の保存会の方々が、地域に伝わる「お宮さんの祝い唄」を披露し、滝畠ダム下流部の右岸の岸壁に佇む、地蔵菩薩と観音菩薩の二体の「磨崖仏」を望む場所で、大切に語られてきた“磨崖仏物語”的紙芝居を楽しんで頂きました。



地域発見ウォーキング [滝畠地区] (29・11・19)

地域発見部会が主催、滝畠地区とかわちながの観光ボランティア俱乐部の協力で、まち歩きと地域紹介を組み合わせたウォーキングを実施。

当日は、生憎「みぞれ交じりの天候」であったが、地域の方々のご協力で75名の参加者は、有意義な楽しい一日を過ごしました。

午前中は、滝畠ダム(昭和57年竣工)を挟んで、東之村と西之村の集落を巡り、ダムや川沿いの茅葺民家を眺めながら光滝寺まで散策。昼食は地区の方々と、地域発見部会員の賄いによる温かいカレーを頂き身体を温めました。

午後は、光滝寺の座敷(35畳)をお借りして、「光滝寺の紹介」(観光ボランティア)と「滝畠 豊かな風土と里のいとなみのひとこま」(部会作成DVD)の上映。その後、観光ボランティアの「高向くろまろ紙芝居」と「タラヨウのはがき作り」を楽しんで散会しました。

イベント行事への参加者が年々増え、開催地域の住民の方々との交流が広がり、校区内全体の「つながりづくり」に有意義な活動となっています。

次年度も、皆さん方に楽しんで頂ける行事を企画致します。ご支援・ご協力頂きます様お願い致します。



●道の駅 [くろまろの郷] ●オープン



平成29年5月27日、●賑わい・味わい・ふれあいの駅●をキャッチフレーズに、府内で10番目の道の駅「奥河内くろまろの郷」が誕生し、オープニングイベントが開催されました。会場は大勢の人々が集まり、屋台の出店や、野菜のつめ放題、記念切符の販売などで賑わい、大盛況でした。

周辺は、清らかな石川の流れ、豊かな事前環境と歴史的資源に恵まれた素晴らしい場所で、芋や玉ねぎ・等の・収穫体験・が出来ます。

●道の駅・奥河内くろまろの郷●の紹介です。

●連合防災活動● [安全なまちづくり]

日野地区自主防災組織設立・記念講演会

平成29年11月1日、日野地区に念願の自主防災組織が設立(登録)。11月26日(日)に、市から危機管理課星野監理官、自主防災協議会からは廣瀬会長を来賓としてお迎えし「記念講演会」を開催致しました。講演会には、日野地区住民の方々と校区連合防災部会の仲間たち 等、120名を超える参加者を得て盛大に行いました。

講演会1部では、講師「防災クリエイティブマネージメント・岡本裕紀子氏」による“知って得する！驚きの日用品防災術”と題して「地震直後に行動する事」や「日常生活を守る知恵」を。講演会2部では、日野地区自主防災委員会の北岸委員長が“身近な危機管理と緊急時の対応”と題して、現役時代に習得した知識と経験を生かして熱弁。10月の台風21号で発生した日野地区の崩落や、流木・土砂災害・等への「対応方法」と、「心肺蘇生法(AED)」の使い方等を講演。双方、身近な例題で解かり易く、非常に有意義な講演でした。



高向公民館主催 防災研修の開催

●1,000人集まれば、1,000通りの知恵●



火災報知器アンケート結果と対応

火災報知器の装備については、平成18年6月に建築許可条件となり、23年6月には義務化されたが、罰則制度がないため徹底出来ない実態です。

過日(8月)のアンケート結果、高向小学校区内の装備率の平均は「37%」で、全国平均(80%台)より大幅に低い結果となりました。「校区連合防災部会」は・火災報知器装備の義務化・の意義(火災の早期発見・早期消火・類焼防止)を踏まえ、装備率の向上に努めたいと考えています。

尚、・報知器の購入と設置・は、「火災から命を守る」為の基本です。消防署と市・危機管理課のアドバイスを得て、一括購入や施工、等を考えています。



1階設置(熱)

2階設置(煙)